

Cグループ [1/2]

■善福寺池

- 環境
- ・環状8号線の地下水流動性工法が上手く機能していないと聞いたので、外環本線で採用して善福寺公園の水が渇水しないか心配だ。採用された事例の施工前と施工後のデータを示して住民が納得できるようにして欲しい。
 - ・外環本線の工事で水脈が枯れ、善福寺池の湧水や池が枯れるのではないかと懸念する。枯れた場合にはどう対処するのか知りたい。
 - ・善福寺池にいる鳥(カモ、カイツブリ)が住めなくなるようでは困る。

■青梅街道インターチェンジ周辺の道路

- 交通
- ・青梅街道インターチェンジができて、交通量が増加し地域の生活道への自動車の流入が多くなることを懸念する。既存道路の改善や規制などの工夫次第で防ぐことが出来るのではないか。

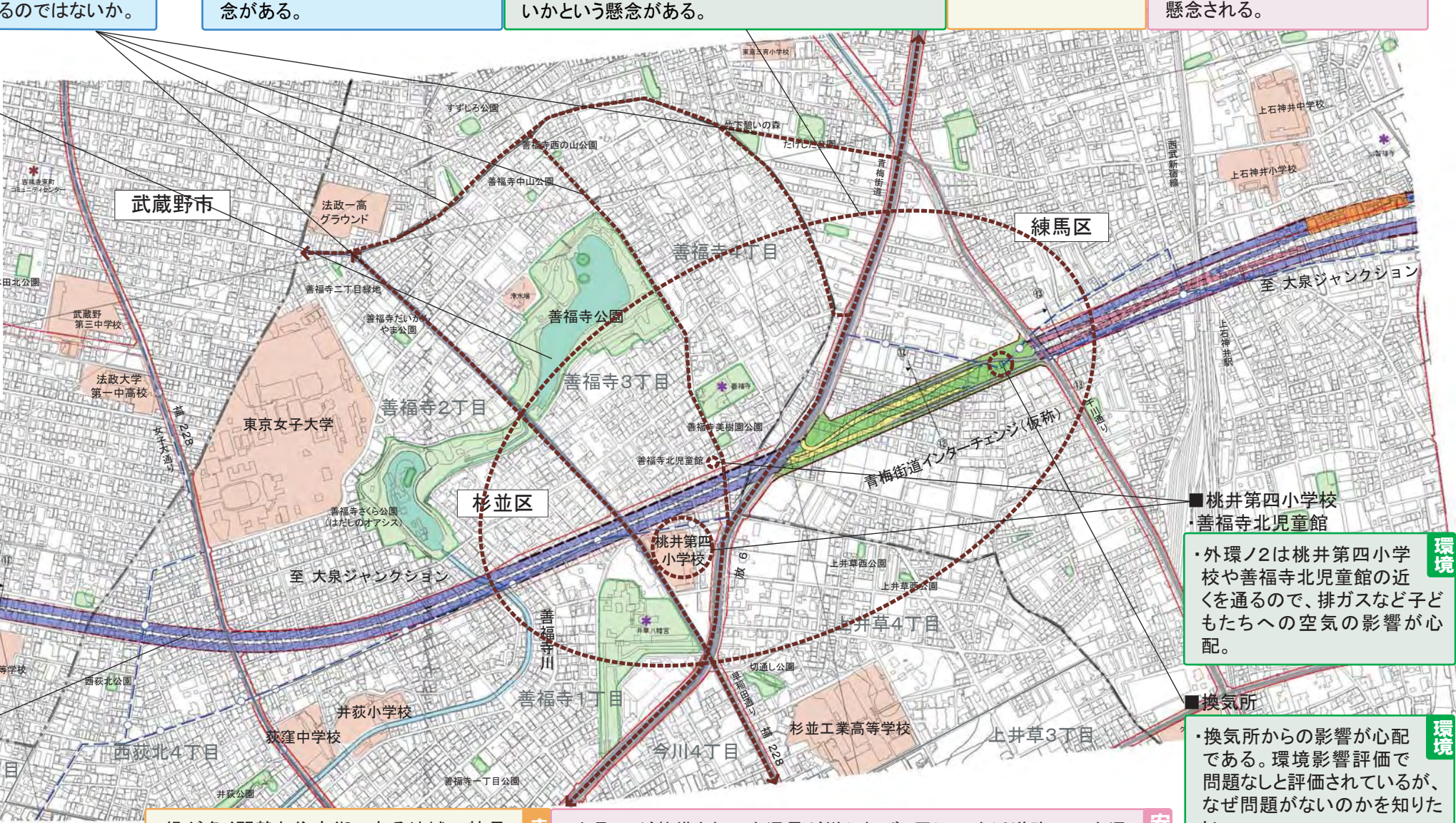
■青梅街道インターチェンジ

- 交通
- ・インターチェンジを利用する交通が増えるため、周辺の道路が渋滞するのではないかと心配である。地域のランドデザインを検討して住民に示して欲しい。
 - ・今後、インターチェンジの計画の見直しの際に、フルインターに変更され、それにより地域の環境が現計画よりさらに悪化する計画になってしまうのではないかと懸念がある。

- 環境
- ・青梅街道インターチェンジが出来ると交通量が増えて、地域への車両の流入も増え、大気質や騒音への影響が懸念される。
 - ・青梅街道インターチェンジができて青梅街道交差点の渋滞がさらに増え、排気ガスや騒音の影響が増えるのではないかと心配だ。現状、完成後の交通量変化の予測や他事例の実績データを示して欲しい。
 - ・今後、インターチェンジの計画の見直しの際に、フルインターに変更され、それにより地域の環境が現計画よりさらに悪化する計画になってしまうのではないかと懸念がある。

- まちづくり
- ・今後、インターチェンジの計画の見直しの際に、フルインターに変更され、それにより地域の環境が現計画よりさらに悪化する計画になってしまうのではないかと懸念がある。

- 安全
- ・青梅街道インターチェンジができて青梅街道交差点の渋滞がさらに増え、交通事故などの危険性が増えるのではないかと心配だ。現状、完成後の交通量変化の予測や他事例の実績データを示して欲しい。
 - ・青梅インターチェンジが出来ると交通量が増えて、地域への車両の流入も増え、安全性が懸念される。



- 環境
- ・外環ノ2は桃井第四小学校や善福寺北児童館の近くを通るので、排ガスなど子どもたちへの空気の影響が心配。

- 環境
- ・換気所からの影響が心配である。環境影響評価で問題なしと評価されているが、なぜ問題がないのかを知りたい。
 - ・換気所からの影響が出た場合の対応が心配である。対応方法を知りたい。
 - ・換気所から排出される排出ガスは、換気所至近では上空に高く吹き上げられるため地上には影響がないが、換気所からある程度はなれると地上に降りてくる。浄化し切れなかった有害物質の影響があるのではないかと心配である。
 - ・高い換気塔が建つと、圧迫感を感じる。景観を壊さないものを作って欲しい。

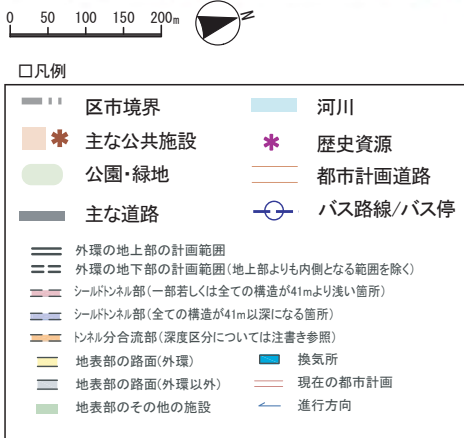
- 安全
- ・外環ノ2が整備されて交通量が増えれば、周辺の生活道路への交通が流入し、通学時の危険性が増加するのではないかと心配。また、知らない車が増えると犯罪の危険性も増加することも心配である。
 - ・外環ノ2が整備されると善福寺地域を分断し、通学の児童や、買い物のお母さん、地元の交流、通院するお年寄りなどの安全性に大きな影響を与えるので心配だ。(再掲)
 - ・外環ノ2を横断することや交通量の増加などにより、桃井第四小学校に通う子供の通学路が危険になるのではないかと懸念がある。
 - ・外環ノ2を横断することや交通量の増加等により、高齢者の通行が危険になるのではないかと懸念がある。

- 工事
- ・外環ノ2の予定地周辺には、幼稚園や学校が数多く存在するので、工事中の環境が悪化して子どもたちに影響するのではないかと、また、工事中の通学路の安全性が保たれるのか心配である。

- まちづくり
- ・緑が多く閑静な住宅街のある地域の特長を守りたい。青梅街道インターチェンジができることの影響に加え、外環ノ2も整備されると、この環境を損なう危険性が増えることが心配である。
 - ・都知事が「他人の家には土足で入らない」と言って外環本線は地下化された。外環ノ2が地上に整備されると、外環本線が地下になって影響が低減すると期待したのに低減しない。地域分断や立ち退きなどのコミュニティの分断が心配だ。
 - ・外環ノ2が整備されると善福寺地域を分断し、通学の児童や、買い物のお母さん、地元の交流、通院するお年寄りなどの生活に大きな影響を与えるので心配だ。

- 交通
- ・三鷹方面とつなぐ南北方面の幹線道路が少なく渋滞していることを、外環ノ2だけで解消しようとしていることを懸念している。周辺道路を立体交差にするなど改善する方が先決である。

- 環境
- ・外環ノ2の予定地周辺には、幼稚園や学校が数多く存在するので、大気質など環境が悪化して子どもたちに影響するのではないかと心配である。
 - ・都知事が「他人の家には土足で入らない」と言って外環本線は地下化された。外環ノ2が地上に整備されると、外環本線が地下になって影響が低減すると期待したのに低減しない。大気や騒音への影響が心配だ。



Cグループ [2/2]

■場所を特定していない意見

- 交通
- ・外環を整備して、環状8号線などの渋滞が緩和し、都心からの通過交通が排除されることに期待する。外環整備に早期に着工してほしい。
 - ・青梅街道インターチェンジができれば通行量は増える。通行量を適切にさばくことができる周辺道路の整備、抜け道の規制を同時に計画しないで整備された場合、地域への影響が心配。
 - ・外環が整備されることで、大泉インターチェンジなどの渋滞が本当に緩和されるのであれば、杉並に外環本線やインターチェンジが建設されるのはやむを得ないのではないか。

- 環境
- ・外環が整備されたら換気所からの排気が現在とどう変化するのが心配だ。環状8号線の井荻トンネルの換気所など、類似の実績データを示して欲しい。
 - ・地下水流動性工法の技術や施工が完全なのか不安だ。
 - ・深さ10mの私有の井戸が枯れるのではないかと心配。枯れたときに補償があるのかを知りたい。
 - ・私有井戸についてどの程度実態を把握し、対策を検討しているのか知りたい。
 - ・利便性を向上させるために、環境を悪化させることに疑問がある。
 - ・地下水が地中に埋まったコンクリート構造物に触れることで、地下水が汚染されるのではないかと懸念がある。
 - ・地下水は、ボーリング調査のような点での調査では実態を把握しきれないので、面的に調査することが重要である。

- 工事
- ・工事車両が地域の生活道路を通行して交通事故の危険性が増えるのではないかと心配だ。現状、工事中の交通量変化の予測や他事例の実績データを示して欲しい。
 - ・工事車両の騒音・振動・粉じんなどの影響が心配だ。現状、工事中の交通量変化の予測や他事例の実績データを示して欲しい。
 - ・工事中の大気汚染や車両や重機の騒音の影響が心配だ。どう対処するつもりなのか知りたい。
 - ・工事中に車両の騒音や排気ガスの影響が心配だ。

- 進め方
- ・外環整備に反対していると、道路整備が進まずに世界の中で東京の都市としての価値が低下したり、日本経済に影響を与えることを懸念する。
 - ・地域への影響などきちんとした交通量の予測を行うことなしに青梅街道インターチェンジの計画を推進するのは心配だ。地域の交通量の変化の予測をしてほしい。
 - ・外環ノ2を整備すると地区内の交通量が増えると思うが、それでも青梅街道や早稲田通りの交通量は減るのか。
 - ・外環ノ2はまず計画の可否についてから議論すべきだと思う。個人的には外環ノ2は今さら不要だと思う。
 - ・外環ノ2についてきちんと話し合いをしたい。地域課題検討会で本線の話をしただけで外環ノ2の計画が進められてしまうのではないかと心配だ。外環ノ2を地域課題検討会の対象としてほしい。
 - ・地域課題検討会で外環ノ2も対象とすると、検討が不十分のままに計画が進められるのではないかと懸念する。外環本線と外環ノ2は用途・目的が異なるので、分離して議論したい。
 - ・外環ノ2について、しっかりと話しあう場を設置してほしい。進め方や考え方を示してほしい。
 - ・外環本線と外環ノ2は密接な関係にあるので、対象を外環本線だけにするのは心配だ。外環ノ2も検討対象としてほしい。
 - ・外環ノ2の必要性を検討せずに、外環本線の話を進めることに懸念がある。本線の話をしてそのまま外環ノ2を進めるのではないかと心配だ。
 - ・都市計画の変更内容が地域に伝わっていないなど、外環に関する情報提供の方法に懸念がある。
 - ・地下水の分断について、現時点で説明された内容では不十分ではないかという懸念がある。
 - ・外環を建設することに対する、十分な説明がないことに懸念がある。地元が納得できるような説明をしてほしい。
 - ・外環や外環ノ2の建設の影響や、経済状況により土地の資産価値が下がることを懸念している。
 - ・外環ノ2の建設により、住環境が悪化するのではないかと懸念が強くある。利便性よりも環境の保全を重視したい。
 - ・オリンピックを動機とした外環ノ2の建設は、外環ノ2の必要性に疑問を感じる。
 - ・必要性そのものから議論しないとつくることが前提になってしまう。青梅街道インターチェンジをつくることは阻止したい。
 - ・「検討すべき課題」(案)の内容は、具体的な対応の方向が記載されていないので、どのような対応策をとってくれるのが非常に心配だ。

- その他
- ・青梅街道インターチェンジを利用するために1日につき11,000台も通行するのに対して平成32年の交通量が増えないのは不自然だと思う。その理由を示してほしい。
 - ・都知事の「外環本線と外環ノ2は不可分だ」との発言や、平成19.12.28の都の回答書にある「生活再建計画を実施してきました」との記載は、既に外環ノ2地域の住民と土地買い上げの約束をしていることの表れではないのか。もし、そのような約束をしているのならきちんと開示して欲しい。

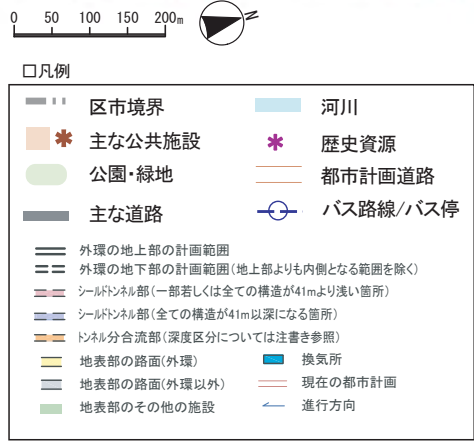
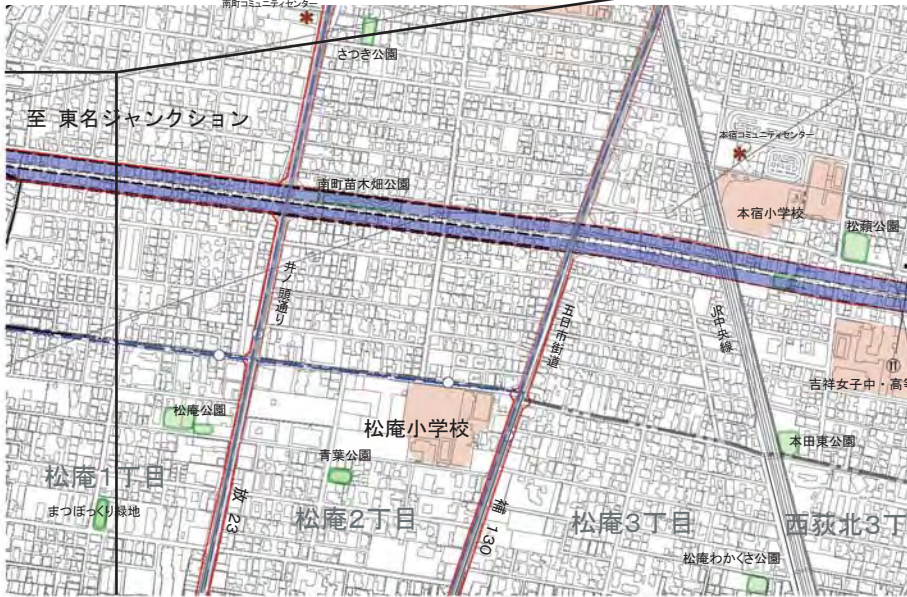
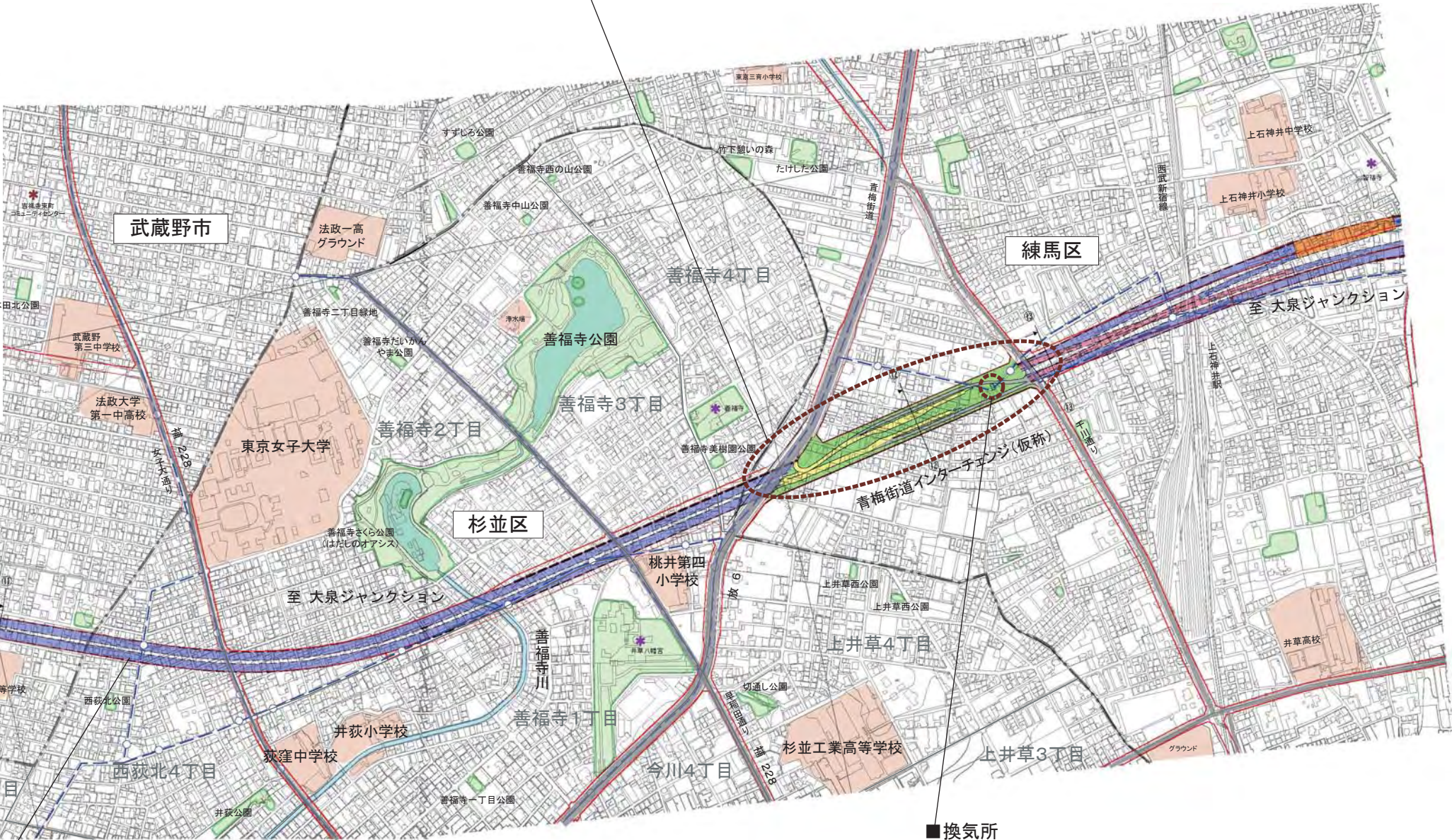
■地域課題検討会の運営

- ・行政による説明会とグループ討議を同時に開催するのは難しいので、別々に開催してほしい。
- ・資料を入れる封筒が欲しい。
- ・傍聴者に対してもメンバーと同じように飲み物などを提供してほしい。
- ・地域課題検討会で出された意見が、何に反映されるのかを明確に説明してほしい。何が決まっていて、これから何を決めるのか。話し合いの余地がある部分がどこなのかきちんと教えて欲しい。
- ・地域課題検討会は行政と住民が話し合う場ではなく、住民同士が話し合う形態となっており、結果が計画に反映されるのか不安がある。地域課題検討会の結果が計画に反映されるのかどうか知りたい。
- ・今後のPIがどのように進むのかが分らなくて不安である。今後の進め方や住民に期待している役割を知りたい。
- ・重要な問題なので1, 2回では成果がまとまるのか心配。回数を増やしてほしい。
- ・地域にとって重要な問題なので、十分に議論したい。回数を増やしてほしい。
- ・同じことを何度も言わなくて済むよう、住民が疑問に思っていることや質問について行政から回答がほしい。
- ・予定通り、全体進行役がプログラムを進めてほしい。個人の発言や行政の回答が長すぎる。
- ・特定の個人の発言に時間を取られてグループ討議の時間が少なかった。全体進行役は予定通り会を進めてほしい。
- ・事前に読んでおいて住民間の知識差を埋められるよう、もっと早く資料を事前に送付してほしい。
- ・全体検討の資料説明は、住民の意図が行政に伝わっていないため、的がずれた説明となっている。住民の質問意図に答えた資料説明をしてほしい。
- ・杉並地区検討会は住民の意見を聴くだけで、行政からの何らかの回答が聴けないので、価値がない会議となってしまった。第3回検討会を実施するときは、行政からの回答が聴ける会議としてほしい。
- ・第3回は、住民側が出した質問に対し、的確に答えてもらえるような運営が行われる会議としてもらいたい。
- ・第3回は、質問に対する回答を聞く場としたいので、この検討会のように参加者を限定するのではなく、公開された説明会方式で開催してはどうか。
- ・第3回は、主に質問に対する回答を聞く場とし、それを受けてグループ検討で話し合いたい。
- ・第3回は質疑応答を主とし、住民が納得できるまで行政と話し合える場としたい。
- ・今後の詳細検討については、専門的なことは一般の住民は理解できないので、住民側の専門家と国の専門家が専門的な議論を行い、その結果を住民に説明する方式で実施してほしい。
- ・今後の検討についても、同じメンバーで話し合いたい。

Dグループ [1/3]

■青梅街道インターチェンジ

- 交通
- ・インターチェンジ出入口付近の交通対策はどのように考えているのか。交通量が増え、渋滞するのではないか。
 - ・インターチェンジができることで、周辺道路は交通量が増えてしまい、渋滞がおきるのではないか。
 - ・インターチェンジができることで、生活道路への車輛侵入が増大し、その結果、渋滞が起こるのではないか。生活道路への進入禁止や一方通行にするなどの制限が必要。
 - ・青梅街道インターチェンジ周辺の通過交通は増えないと国は言っているが疑念がある。その根拠を市民が理解し納得できる資料で示してほしい。



■外環ノ2

- ・通学路に40m～60mの地上道(外環ノ2)が計画されているが、小学1年生が信号1回で渡れない。
- ・外環ノ2の計画道路幅で高齢者、障がい者、子どもなどが渡るのか心配。

- ・外環ノ2工事中に、近隣の家屋に問題が発生した場合の対応や補償はどのようになり、窓口はどこになるのか(国か都か)わかるようにしてほしい。

■換気所

- 環境
- ・換気所の効果が不明。本当に地域への影響はないのか疑問である。市民が理解し納得できる説明がほしい。
 - ・換気所の高さは20mで問題ないのか。地域への影響を考えるともっと高いほうがいいのか。根拠について市民が理解し納得できる説明がほしい。
 - ・行政からの説明に不満がある。大気汚染に関して、工場の廃ガスよりきれいと言うが、濃度が薄いのであって、外の空気と混ぜて薄めているだけだから、実際は汚れたガスが出ている。
 - ・大気汚染は940m付近が1番濃いといわれている。

Dグループ [2/3]

■場所を特定していない意見

交通

- ・東名方面へは東八道路インターチェンジ利用となるため、東八道路やそこへ抜ける周辺道路への影響がどうなるのか心配。渋滞は起こらないと聞いているが、本当なのか疑念がある。
- ・環八道路と外環は時間で10分しか変わらないが、渋滞が解消される効果はある。
- ・良い環境を子どもたちに残したい。外環ができると地下水、大気汚染、交通量増加などの様々な問題が起こることが明らかである。

環境

- ・道路ができることで目に見えないものを失っている。環状7号線ができて運動会ができなくなった小学校もあり、喘息も増えた。大気汚染による健康被害が心配。
- ・地下トンネルは人口密集地を走ることになり、地下水渇枯による地盤沈下の危惧がある。
- ・地下トンネルが地下水脈(みずみち)を分断破壊し、武蔵野台地の緑地帯を壊す可能性にもっと敏感になるべき。
- ・地下水脈(みずみち)の分断破壊が心配である。地盤沈下は本当に起こらないのか、地下40mは絶対に安全といえるのか、強い懸念がある。その根拠を市民が理解し納得できるかたちで知りたい。
- ・この地域の「良好な住宅地としての環境」を守り次世代に残したいが、道路建設がこの環境を悪化させることは必至である。
- ・外環ができることによるCO₂、振動、騒音に対する対応は完全なのか、懸念がある。
- ・今後も豊かな環境を確保したい。(緑、水、空気)
- ・行政からの説明に不満がある。環境影響評価の基準をクリアしているからいいという問題ではない。今より環境が悪くなることは確実である。また、環境影響評価も予測でしかなく、問題が起きてから対処するのでは遅い。
- ・他の地域(杉並中継所では)ダイオキシンが出ているという。それに比べれば外環での被害はマシかもしれない。
- ・地下水の水質悪化も心配。地下水を飲み水として利用しているので、そちらにも影響が出てくるのではないか。異物混入の恐れがある。
- ・行政からの説明に不満がある。地下水位変動は2m前後なら大丈夫だというが、家屋は10cmでも傾けば被害が出る。それを踏まえた上での発言なのか。地盤沈下を心配しながら生活していくのは、非常に不安である。
- ・良い環境を子どもたちに残したい。外環ができると地下水、大気汚染、交通量増加などの様々な問題が起こることが明らかである。(再掲)

工事

- ・東八道路インターチェンジの工事が始まる頃には、周辺道路がどのように整備され工事用車両はどこを流れるのか。地域内への車輛流入が心配。
- ・工事車両がどう流れるのか、そのための道路整備はされるのか。生活道路への進入や渋滞など地域への影響が心配。

進め方

- ・青梅街道インターチェンジや換気所ができることで、環境への影響が心配。個々の具体的な問題を挙げて検討していくべき。
- ・青梅街道インターチェンジがハーフインターでは、東名方面には東八道路インターチェンジまで行かないと使えないので不便である。そこへ抜ける道も混む事になるのではないか。
- ・練馬区側で道路を含めた地域整備を進めれば、あえてハーフインターチェンジを造る必要はなくなる。ハーフインターでは片側しか出入りできないので、生活道路への車輛流入増大や抜け道化など、かえって環境悪化を招き、次世代に禍根を残すことになる。将来に活きる議論をするべき。
- ・インターチェンジ出入口付近の交通対策はどのように考えているのか。交通量が増え、渋滞するのではないか。
- ・青梅街道インターチェンジ周辺の通過交通は増えないと国は言っているが疑念がある。その根拠を市民が理解し納得できる資料で示してほしい。
- ・道路計画は目先の利便性を求めて杉並の自然を壊している。この地域に住んでいる次世代に今のままの善福寺地域、公園をなんとしても残したい。とことん議論すべき。
- ・地下水脈(みずみち)の分断破壊が心配である。地盤沈下は本当に起こらないのか、地下40mは絶対に安全といえるのか、強い懸念がある。その根拠を市民が理解し納得できるかたちで知りたい。(再掲)
- ・「区長からの要望書」に対する「国・都からの回答」は事業化前に示してほしいし、その回答で安全性が示されることを望む。
- ・「区長からの要望書」に対する「国・都からの回答」が未だ出されていないことへ不満がある。事業化前に出すべき。
- ・「区長からの要望書」に対する「国・都からの回答」は事業化の前に出すべき。
- ・外環本線、外環ノ2について市民が理解し納得できる資料を示して欲しい。
- ・国・都は環境影響評価で問題ないと言ったのだから、その根拠となるデータをきちんと示すべきであり、「区長からの要望」に対してもデータを示して回答するべきだが、未だ示せないということはやはり問題があるのではないか。
- ・外環ノ2の方針が決まらないと外環本線の環境影響評価自体が不十分になる。影響は複合的なものなので別々に行っても意味がない。
- ・外環ノ2について、交通量予測の説明やデータを市民が理解し納得できるかたちで示して欲しい。
- ・外環ノ2について、市民が理解し判断するためのデータを早く出すべき。パンフは2年前からできているのになぜデータは出てこないのか。
- ・青梅街道インターチェンジや換気所ができることで、環境への影響が心配。個々の具体的な問題を挙げて検討していくべき。
- ・外環ノ2についてきちんとした説明を。
- ・外環ノ2の道路幅は何mが本当に必要なのか。また、どれくらい車両が流れるのか。市民が理解し判断できる情報を示してほしい。
- ・外環ノ2は外環本線が地下なら必要ないと考える。まずは必要性の議論からするべきである。
- ・外環ノ2は必要でない。
- ・外環本線と外環ノ2は同時に議論すべき。本線が地下に計画変更されても、住民からみれば地上に道路ができるという事実は長年変わっていない。

その他

- ・着工から10年で供用といっているが、実際は無理でもっとかかるのではないか。
- ・便利な東京として外環道(地下)はいつごろ完成して利用できるのか知りたい。
- ・青梅街道の並木を切って道路幅を拡げると聞いたが本当なのか。
- ・環状8号線の渋滞がひどくて困っている。地下工事をやるなら今やらないと、景気が悪化したらできなくなってしまうのではないか。

Dグループ [3/3]

■地域課題検討会の運営

- ・地域課題検討会の組み立てに不満がある。「検討会」というならば、もっと時間をかけて見学会、勉強会などを行う必要があり、「時間がおしてますので」「時間がないので」では検討会の意義がない。
 - ・地域課題検討会での議論の時間が足りないことが不満である。もっと討論したいし、もっと検討すべき。
 - ・次世代に借金と環境悪化などの悪影響を残したくないので、外環の必要性から議論すべき。
 - ・今生まれる子どもは一人600万の国の負債を背負っていくことになる。これ以上増やさぬよう、今は、利便性や経済効率を求めて新しい道路を造るべきではない。外環の必要性から議論するべき。
 - ・次世代に禍根を残さないように、外環および外環ノ2の必要性について十分に議論したい。
 - ・今は道路整備よりもっと緊急を要する医療問題、年金、子育て教育、地球環境のために予算を使うべき。
 - ・人口減少、高齢化の中、今は道路整備よりも、医療、年金などに予算を使うべき。今後交通量は減少していくので、道路整備の緊急性は低い。
 - ・今は、利便性や経済効率を求めて新しい道路を造るべきではなく、生命に関わる医療や子どもたちに予算を使うべき。
 - ・今は、利便性や経済効率を求めて新しい道路を造るべきではなく、既存の橋、道路のメンテナンスに予算を使うべき。
 - ・今は、利便性や経済効率を求めて新しい道路を造るべきではなく、利便性や経済効率をあげるなら、地下に高速道路
- 地域PI課題検討会は、外環整備の必要性についての議論や、それに伴い地域から出た不安や疑問に回答をしてくれる場だと思っていた。住民の意見を集約するだけの会であることに懸念がある。地域からの質問への回答をし、情報を開示した上で、外環の必要性から議論したい。自分たちの不安を取り除いてほしい。地域PI課題検討会は、外環整備の必要性についての議論や、それに伴い地域から出た不安や疑問に回答をしてくれる場だと思っていた。住民見を集約するだけの会であることに懸念がある。地域からの質問への回答をし、情報を開示した上で、外環の必要性から議論したい。自分たちの不安を取り除いてほしい。をつくるより地下鉄をつくるほうが、市民は利便性があがり、物流も燃料代が高騰している中、環境負荷が少ないコンテナ輸送にすれば効率がよいのではないか。
- ・交通量予測から判断すると青梅街道インターチェンジは必要ないと考える。まずは必要性の議論からするべきである。
 - ・国の借金が増えている中、多額な事業費がかかる道路整備が本当に必要なのか。外環本線・外環ノ2、ともに必要性の議論からするべきである。
 - ・国の借金が増えている中、事業費約2兆円もの外環整備は本当に必要なのか。まずは必要性から議論するべき。
 - ・環境問題を徹底的に話し合うべきである。
 - ・現地見学会、勉強会が必要である。
 - ・進行係は主催者側から報酬を得ているので、地域課題検討会での中立性、独立性に疑問がある。
 - ・進行係が推進役なので反対。
 - ・地域課題検討会であれば、まずは情報がないと検討できない。市民が理解し納得できる情報をデータとして公開してほしい。それがW/S方式のはず。
 - ・次回の検討会を開催するならば、住民の質問に対する説明がほしい。
 - ・懸念、アイデアについては区長が質問している。次回も集まるならば、それに対する回答がほしい。
 - ・次回は説明会方式で行い、その場で質問をし、回答を得るという形で、住民が納得するまでやりとりがしたい。
 - ・次回は説明会方式で行いたい。顔を直接合わせ、行政側の説明に対して住民が質問をし、行政が返答をするといったキャッチボールをしたい。行政側の回答が、今回のように聞いた内容にそぐわないということにならないようにしてほしい。
 - ・検討会を続けて住民が納得できる回答がほしい。
 - ・次回も公式で、位置づけは「経緯と今後の進め方」(パワーポイント資料)の中の地域課題検討会として開催してほしい。検討内容もすべて公開してほしい。)
 - ・次回は説明会方式で開催し、住民が納得できる回答がほしい。
 - ・説明会には、住民推薦の専門家にも参加させる。次回は区民が推薦する専門家(水、大気汚染)を呼び、見解を聞きたい。
 - ・行政は自分に都合のよい説明しかしない。説明会では各分野の専門家による説明が必要である。
 - ・現状を知り、知識や理解を深めるため、現地見学会を行いたい(井荻トンネル、青梅街道インターチェンジ、中央環状線)。
 - ・課題に対する住民の知識量にも差があるので、勉強会もしながら進めてほしい。
 - ・説明に変化がない。データにも不満がある。1番大事な最新の情報が抜けている。
 - ・行政からの真摯な回答を求める。今日の説明で不信感が募った。
 - ・住民の質問に対してほとんど回答をもらっていない。郵送でも何でもいいから、住民が納得できる回答を提示した上で、次回に進んでほしい。
 - ・住民から出された課題に対して、住民が納得できる回答がほしい。
 - ・今日出た質問に対して、住民が納得できる回答がほしい。
 - ・今日の水の問題に対する回答内容が不十分である。時間切れでできなかった残りの大気汚染などの問題についても回答を求める。
 - ・東八道路インターチェンジの整備はどうされるのか。

- ・国土交通省の説明は納得がいけない。地下水については、3年や5年で安全だということがわかるものではない。
- ・検討会を開いても、有権者の意思はどこまで反映されているのか。とても反映されるとは思えない。
- ・検討会を何度やっても、納得できる結果は得られないのではないか。毎回同じことの繰り返しになるのではないか。
- ・事業を進めることばかりに気をとられていて、住民への対応がおざなりになっている。
- ・環境影響評価で、「不確実性はない」と言い切っているが、住民が安心できる根拠が検討会での説明では足りない。
- ・大気汚染の資料が地下水のデータに比べて少ない。住民の懸念を考えればもっと資料があつてよいはずである。

Eグループ [1/2]

■東京女子大学付近の、女子大通り・早稲田通り・外環ノ2に挟まれた地域

・女子大通り・早稲田通りに挟まれた、東京女子大学付近の道路に、通過交通のためスピードを出した車が走っている。桃井第四小学校への通学路となっていることから、子どもの安全対策を考えて欲しい。

安全

■東京女子大学沿いの道

・道が曲がりくねっているため、子どもの飛び出しによる交通事故が懸念される。

安全

■女子大通り、早稲田通り、青梅街道周辺

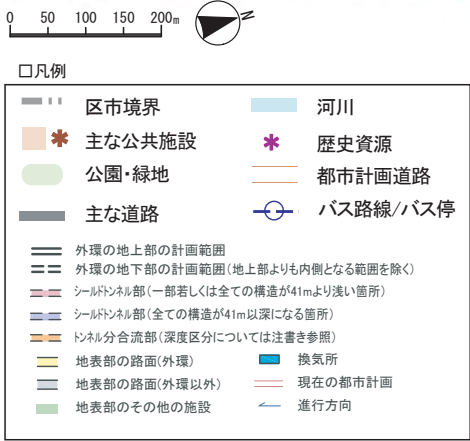
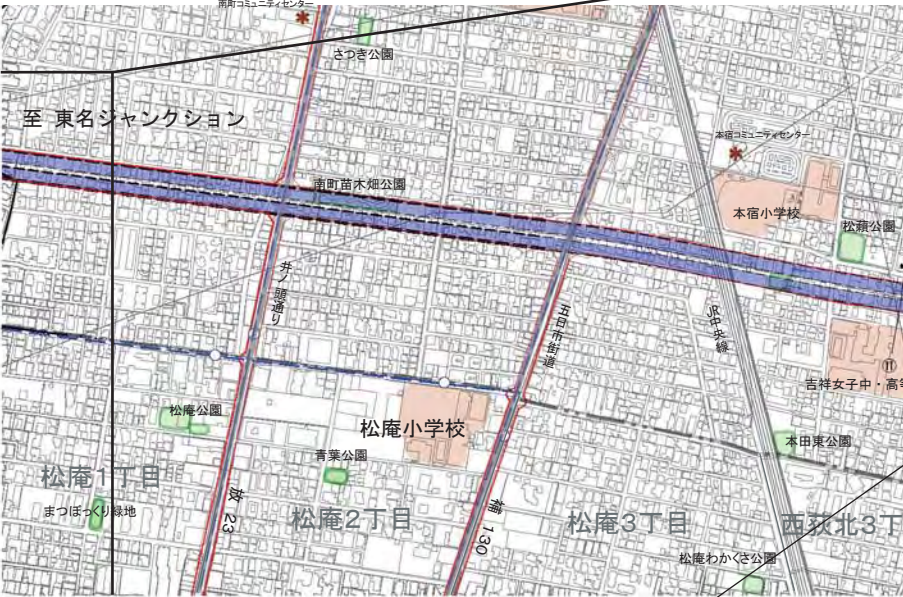
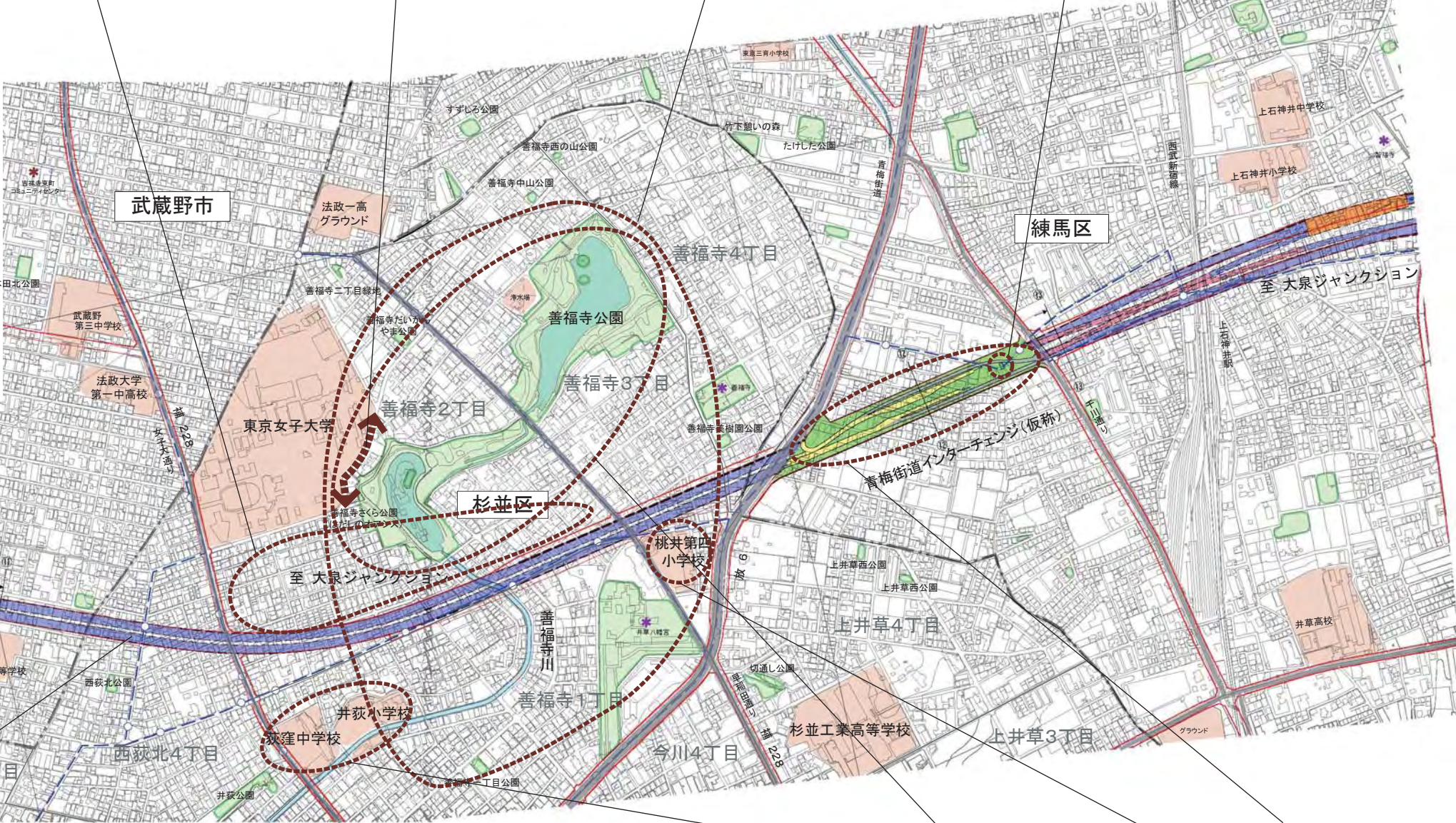
・子どもが通う施設が多い地域であるため、都市計画のための工事や道路整備による交通量の変化などで、子どもの交通事故が起こることが懸念される。

安全

■換気所

・桃井第四小学校など換気所周辺の大気汚染が懸念される。
・換気所からの排気ガスによる、子どものぜんそくが懸念される。

環境



■外環ノ2

・街が緑豊かになることを期待している。外環ノ2の車道幅員を狭くし、道路わきに木を植えて欲しい。

環境

・外環ノ2については、道路機能は最小限度にして、残った部分を、街が運営管理する、地域住民が自由に使えるコミュニティ施設を作るスペースにして欲しい。
・幅員が40mと、外環ノ2の幅が広すぎるので、地域への影響も大きい。どのような道路となるのか心配である。
・外環ノ2は、幅40mの道路が地域内をはしることになり、地域住民に多大な影響を及ぼすことになる。そのための都市計画変更が勝手に行われ、実際の計画の方向の検討がどう進められるのかが見えてきていない。おかしい状態である。

まちい

■井荻小学校・荻窪中学校付近

・外環ノ2により、学区の分断が懸念される。

まちい

■善福寺公園周辺

・地下を掘ることによって、善福寺周辺の水循環に影響が出ないか懸念される。
・善福寺公園への影響が懸念されるが、その影響への補償、担保を具体的に説明して欲しい。

環境

■桃井第四小学校付近

・外環ノ2により、学区の分断が懸念される。(再掲)

まちい

■青梅街道インターチェンジ付近

・インターチェンジ付近の水位の変化予測が数値で示されているが、本当に安全の範囲内なのか、地盤沈下が本当に起こらないのか不安である。

環境

Eグループ [2/2]

■場所を特定していない意見

・抜け道の交通量が増えるのではないかと懸念している。
・子どものスクールタイムは特に、道路整備による細い道への影響が心配。子どものスクールタイムにおける通過交通の進入規制など、道路整備による細い道への影響について、具体的な策があるのか示して欲しい。

交通

・地下の様子は未知の領域であり、何が出てくるのか、どんな影響があるのかははっきりとはわからない。自然にはありえない状態をこの工事によって引き起こすことになる。自然環境への重大な干渉、環境破壊と言わざるを得ない。

環境

・現状よりもよくなるという保証をしっかりと、その上で、外環を作って欲しい。

まちづくり

・インターチェンジ設置や幹線道路整備などによる交通量の増加から、子どもの交通事故が懸念されるが、どう担保をとってくれるのか、解決策を示して欲しい。

安全

・十数年工事車両が通過し続けるので、人・交通への影響が懸念される。
・工事車両が入ることによる、周辺道路へ影響が懸念されるので、安全な交通規制、計画の案を出して欲しい。

工事

・都市計画道路区域ということで、40年近くも建築制限がかかっているため、鉄筋の建物がたてられず、事業を起すための銀行の融資も得られないなどの問題が起きている。その補償をどうしてくれるのか。

補償

・公共施設整備は、予算もあって納期を厳守することが求められることが一般的ではあろう。しかし、外環整備については、都市計画決定したので、事業化に進む期限を設定するなど、勝手に納期管理をするような進め方をしてもらっては困る。
・外環ノ2を含めて、地域住民の納得が得られるまでは、外環本線の事業化に進まないで欲しい。地域の合意形成がされないまま外環ノ2が進んでしまうことを懸念している。
・若者の自動車離れや公共交通機関利用の推進が叫ばれる風潮の中、外環や地上部街路を整備する必要が本当にあるのかどうか疑問に思う。
・地域にとって最大の関心事は外環ノ2であり、外環の整備を切り離して考えられるものではない。外環ノ2をどうするか、方向を決めてから、議論するべきである。
・なぜ多大な環境破壊を犯してまで、外環本線をつくらうとするのか。
・外環本線だけでなく、外環ノ2を含めて、地域住民の納得が得られるまでは、事業化しないほしい。
・外環ノ2については4区市が関係している。他の地域で計画実行が承認されたら、「杉並区の意見は通すことができない」という行政側の言い訳が予想できてしまう。そうあってはならないと思う。
・外環ノ2の計画線の範囲で青梅街道インターチェンジがつくられようとしている。初めから本線とセットで外環ノ2をつくるつもりでいるのではないか。疑ってしまう。
・「検討すべき課題」では、地域住民の不安や不満を「懸念」という言葉でまとめている。そこでとまってしまうと、解決されるのかどうかすら不安になってしまう。課題に対する対応までをつくって、回答してほしい。

進め方

・今秋以降に示されるという、新しい交通計画の考え方を知っておきたい。また、新しい交通量のデータの読み方を教えて欲しい。
・都市計画により、今後計画・整備される道路について、場所等、具体的に知りたい。
・西荻を抜ける道路など、周辺道路の整備が言及されているが、具体的にどの道路を整備するのか示して欲しい。
・地下水の状況説明、ボーリング調査の信憑性がないので、納得できる情報が欲しい。
・なぜ青梅街道インターチェンジが必要なのか、説明して欲しい。

その他

■地域課題検討会の運営

・地域住民の意見がどこまで反映されるのか知りたい。
・東京都や杉並区それぞれ意見の方向が異なっている。その方向性を明確にして欲しい。
・計画を進める際、行政と地域住民、双方の意見交換、ディスカッションを行いたい。
・地下の高速道路の危険性を知るため、中央環状の見学がしたい。
・井荻トンネルの整備による地下水の漏水があったが、状況把握のため、その見学会を開いて欲しい。
・この地域には、立教女学院、東京女子大学、吉祥中学・高等学校など多くの私立の学校があり、通学の学生・生徒も少なくない。周辺の学校が外環ノ2やインターチェンジ整備による交通量変化についてどういう意見を持っているのか聞かせて欲しい。
・提示された資料に目を通しきれないため、データの読み方も含め、国や都は地域に対し説明する機会を設けることが必要。
・国土交通省の「疑問に関する補足説明」に関して、余り関心のない人であれば、納得しそうな説明であると思うが、質問に対しての答えもはっきりしない、とりあえず「だまし」とも感じられる資料であった。
・国土交通省の「疑問に関する補足説明」に関して、計画を実行するという前提の資料では納得はできない。住民が不安に思っていることを理解できるように、説明・整理する資料であってほしい。問題があるなら、それへの対応策が説明されていなければ納得には至らない。
・住民の疑問に対して、説明が不足していれば再質問を加えることが必要であり、住民が納得のいく回答を提供してもらえる場がほしい。課題検討より前に、回答もらえる場がほしい。
・「疑問に関する補足説明資料」についていえば、事前に郵送でいただき、必要な追加質問もすることができて、さらに補足説明を準備してもらっていたなら、本日のような検討会にはならずに済んだ。次回からは、事前に説明資料を配布していただきたい。それに対する意見を持った上で、検討会に参加したい。
・グループメンバーも自分の時間をやりくりして出席している。「疑問に関する補足説明資料」など、事前に郵送でいただきたい。それに対する意見を持った上で、検討会に参加したい。
・今後「疑問に関する補足説明資料」などは、事前に配布して疑問や意見を募り、それに対する住民の意見を踏まえた上で、再度資料を作り直してほしい。作り直した資料を基に、議論を展開したい。
・第2回で多くの説明がされたことが、納得にはつながってこなかった。
・忙しい時間をつぶして来ているのだから、検討会の場・拘束される時間では有効な結果を得られるようにしてほしい。事前に自分の時間のなかで、資料に目を通したり、意見を述べることはできることである。納得のいく資料を作るために住民ができることもある。しっかりした資料で議論を展開し、有意義な検討会にしたい。
・前回の要望に対しての回答が欠けている項目がある。検討会の前提として、きちんとしたものを国交省から提示してほしい。資料が調ってから検討会を開いてほしい。
・不安や疑問と説明とがすれ違っていて、納得のいく回答となっていない。次の段階の議論が展開できるためには、住民の質問に答える回答が必要である。
・国・都・区のそれぞれの立場がそれぞれ異なっている。住民に一番近い杉並区は、意見をもっと主張してほしい。
・今回の検討会のテーマは、基本的には行政が十分に住民に説明し、住民と行政とで意見交換を行っていなければならないものである。しかし、これまで行政との間で意見交換や議論を交わしていない。そのような状態で、グループ検討しても意味がない。
・なぜこのような都市計画を発案したのか。行政が責任をもって説明する場が必要と感じる。
・行政と住民の間で、正しい、同じ情報が共有されていないと感じる。
・行政の対応に、住民の不安や意見を解決しようとする誠意が感じられず、計画ありきの説明に終始しているように感じる。
・第3回の検討会を開催するのなら、住民の意見に対する行政側の回答、説明を踏まえて、議論を交わすようにしたい。
・「検討すべき課題」にある懸念に対して行政による対策が提示されてからでないと、住民での議論は難しい。次の検討会は、「課題対応の方針」を受けて開いてほしい。
・課題解決や対応の考え方を市民が考えることには無理がある。行政による「課題対応の方針」がでてから次の議論をしたい。
・第3回目の検討会は、是非、開いてほしい。
・凍結を解除して、外環の構造をどうするのかという段階から、住民の意見を聞くべきだったろう。本線とそのノ2の必要性や影響などから議論をしていれば、現在のような状況はなかったはずである。
・都市計画がすでに決定された中、事業の内容について住民が意見を言っても通らないのではないと思う。何のために議論をして、どこまでの意見が有効なのか、明確にしてほしい。
・住民の意見がどういう形で反映されるのか明確にしてほしい。検討会を、「住民の意見交換の場を設けた」という既成事実にするようなことはしないでほしい。
・外環ノ2に関する議論のテーマは、本線のテーマと重なる部分が多い。本線の議論といっしょにできるはずだ
・この検討会についても、忙しい中、時間を割いて参加している。外環ノ2についての検討会でも、同じような議題になることが予想されるのに、改めて外環ノ2についての検討会を開くことになるのか。一緒に、この会で外環ノ2の議論を進めるべきである。
・住民の意見を本当に取り上げるためには、都市計画決定以前に、説明や話し合いがなされるべきであった。それが、現在の段階に来てしまっている。そのことを十分理解して、話し合いを進めるようにしてほしい。
・外環ノ2についても、外環本線の検討会で議論すべきである。外環ノ2の内容がわからないままでは、本線の議論もできない。